

1

JAN 2023
VOL.159

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-denshin

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶



Let's コミュニケート!
今年こそ!

きおく画伯
令和五年、卯年

社長と行こう! こっそり食堂
昭和ヘタイムスリップ!

特集

2023年 NHK大河ドラマ「どうする家康」放送スタート!

戦国の蒲郡と 家康ゆかりの地

尾張

特集

いよいよ1月8日(日)
2023年NHK大河ドラマ『どうする家康』放送スタート!

戦国の蒲郡と家康ゆかりの地

今年大河ドラマの主人公は日本史上でも特に人気の戦国三英傑の一人、我らが徳川家康。三河国出身であることから、蒲郡にも家康にまつわる多くの逸話が残されています。今月号では蒲郡に伝わる家康ゆかりの地と、当時の蒲郡について特集します。

三河

前作『鎌倉殿の13人』最終回、一足早く登場した松潤扮する家康のシーンに挿入された「1564年 三河」のテロップに三河人は狂喜乱舞しました(たぶん)。今作は確実に蒲郡が登場します!楽しみですね!!

遠江



徳川家康 (松本潤)



於大の方 (松嶋菜々子)

基本をおさらい! 徳川家康 超略年表

Table with 2 columns: Year (西暦) and Event (出来事). Includes dates from 1542 to 1616 and key events like birth, military campaigns, and the founding of the Edo shogunate.

新たな上ノ郷城主には家康配下の久松氏が置かれました。

「三河一向一揆」は、「三方ヶ原の戦い」・「伊賀越え」と並んで家康の三大危機と言われています。

当時の関東は葦の生茂るだっ広い田舎。家康は、その影響力を遅れた秀吉より京から遠ざけられたのでした。



うどのながてる 鵜殿長照 (野間口徹)

家康vs.鵜殿氏 上ノ郷城の合戦

時の城主・鵜殿長照は今川義元の妹を母に持ち、鵜殿家は三河国における今川勢力の筆頭格でした。しかし桶狭間の戦いで今川義元が織田信長に討たれると、三河国内ではこの混乱に乗じて三河統一に乗り出した徳川方に付く今川領主が続出し、長照は次第に孤立。そして1562年(永禄5年)、徳川家康は長照を討つため上ノ郷城に攻め込みます。しかし上ノ郷城の守りは大変固く、家康はなかなか落とすことが出来なかったため作戦を立て直し、配下の忍者・服部半蔵を使って城に火を放つことで攻め落としたそうです。上ノ郷城は、初めて戦いに忍者が使われた城とも言われています。上ノ郷城の北西に位置する正行院の近くにある鵜殿落城男女諸精霊之墓には、「婦女子に至るまで同じ枕に討死す」と刻まれているようで、この合戦の凄まじさを今に伝えています。



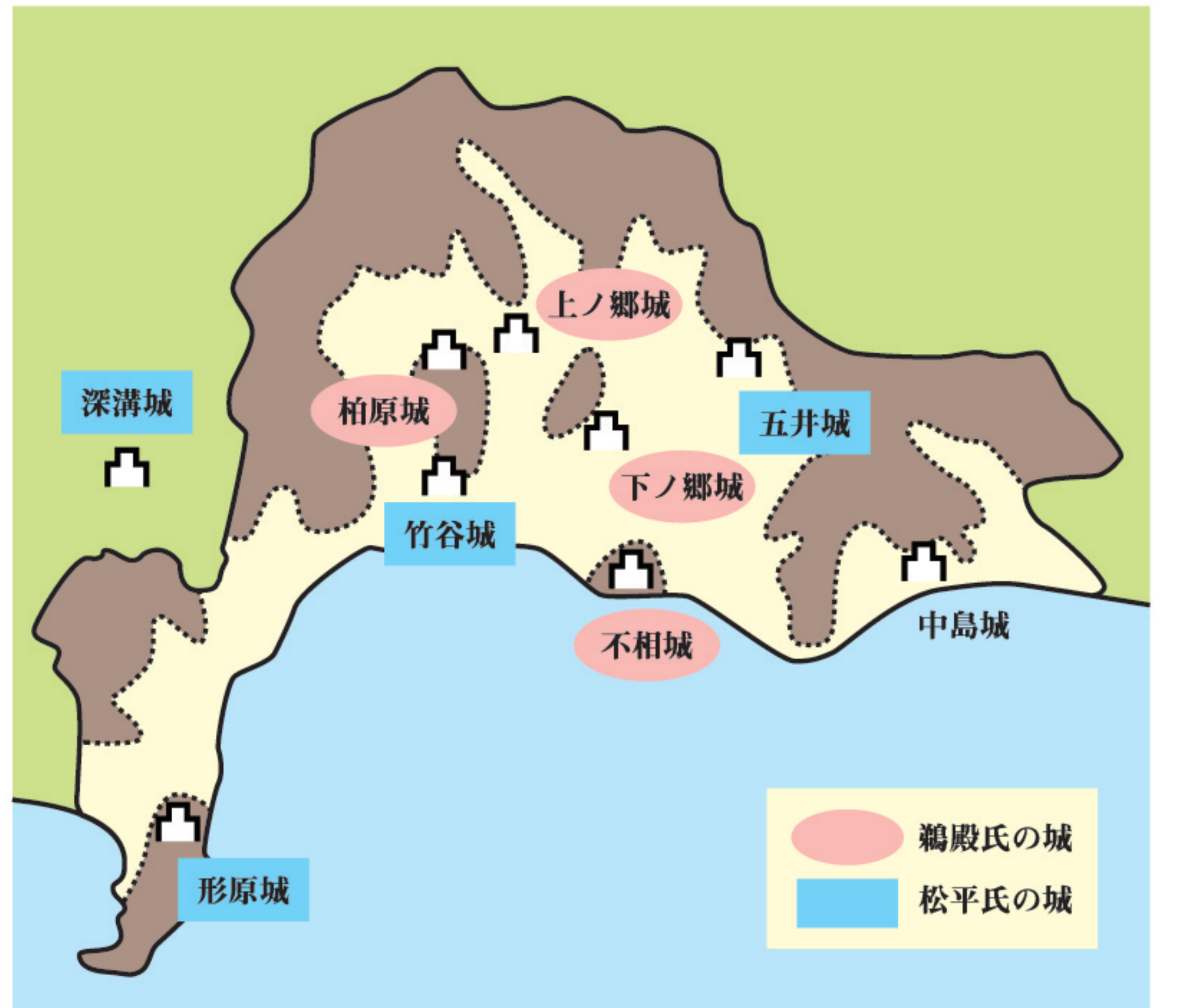
三河湾が見渡せる、神ノ郷町の小高い丘の上に立てられた上ノ郷城。現在も郭や空堀、土塁、井戸などが残っています。

Map of Utonokyo Castle area with callouts explaining historical events like the 1562 battle, the 1590 relocation, and the 1674 shrine relocation. Includes a section titled '蒲郡と鵜殿一族' (Fushiro and Utonokyo Family).

戦国時代の蒲郡勢力図

戦国時代、蒲郡市内には8つの城があり、家康方家臣の松平家と、今川方家臣の鵜殿家の城が入り乱れていました。市内のご近所が敵味方に分かれていたなんて、今では想像できませんね。

Table listing 8 castles in Fushiro: Utonokyo Castle, Nakano Castle, Misato Castle, etc., and their current locations.



蒲郡に伝わる家康ゆかりの地



安楽寺
上ノ郷城の合戦に勝利し、鵜殿氏の後に城主となった久松俊勝の菩提寺。俊勝は家康の生母「於大の方」の再婚相手でもあり、俊勝の死後、於大の方はここで剃髪し、伝通院と号して俊勝の菩提を弔いました。



八百富神社
蒲郡のシンボル・竹島にある神社で、島全体が境内。徳川家康が関ヶ原の合戦の前に参拝し、その後朱印四石八斗を寄進しました。領主松平家の崇敬は篤く、鳥居・燈籠などの奉納も多くおこなわれています。



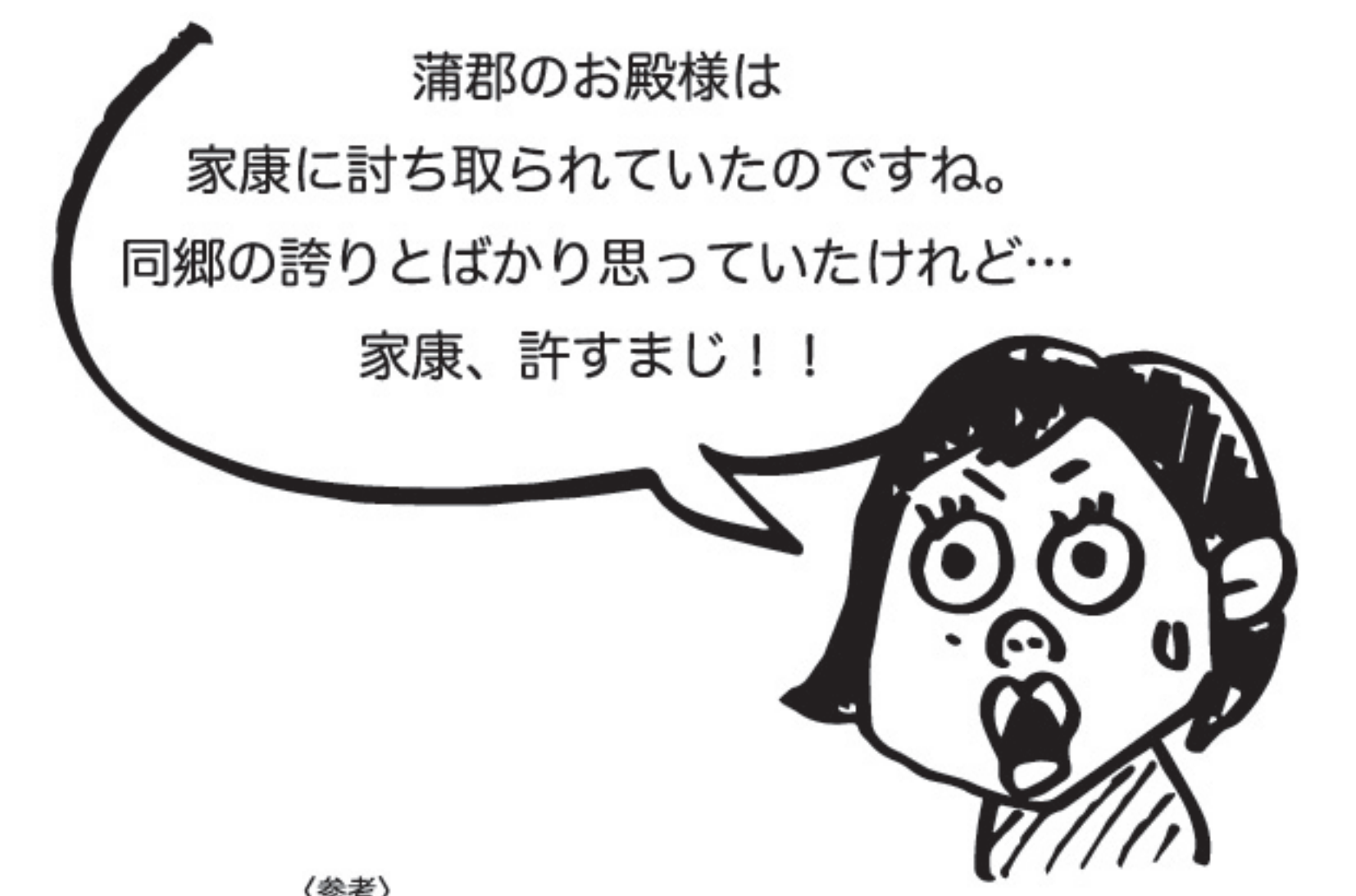
みほと 犬飼湊跡
平安時代から栄えていた古い港。家康が6歳の時に人質として駿河へ送られる際、ここから船に乗ったと言われています。現在はその場所に石碑が建てられています。(竹谷町犬飼港)



天桂院
家康の妹「おきんの方」の法名(死後のおくり名)である「天桂院」がその名の由来。1590年、家康が東海から関東へ国替えとなった際に、竹谷城から武蔵八幡山(現在の埼玉県本庄市)へ引越すことになったおきんの方。実はこの時おきんの方は妊娠中で、道中の小田原で女兒を出産後に命を落としました。天桂院は、夫である竹谷松平家6代目当主・松平家清が、おきんの方の冥福のために建立しました。



天桂院には、蒲郡出身の横綱・玉の海の墓があることで有名。今でも名古屋場所が行われる際には、多くの関取が参拝に訪れるそうですよ。



蒲郡のお殿様は家康に討ち取られていたのですね。同郷の誇りとばかり思っていたけれど... 家康、許すまじ!!

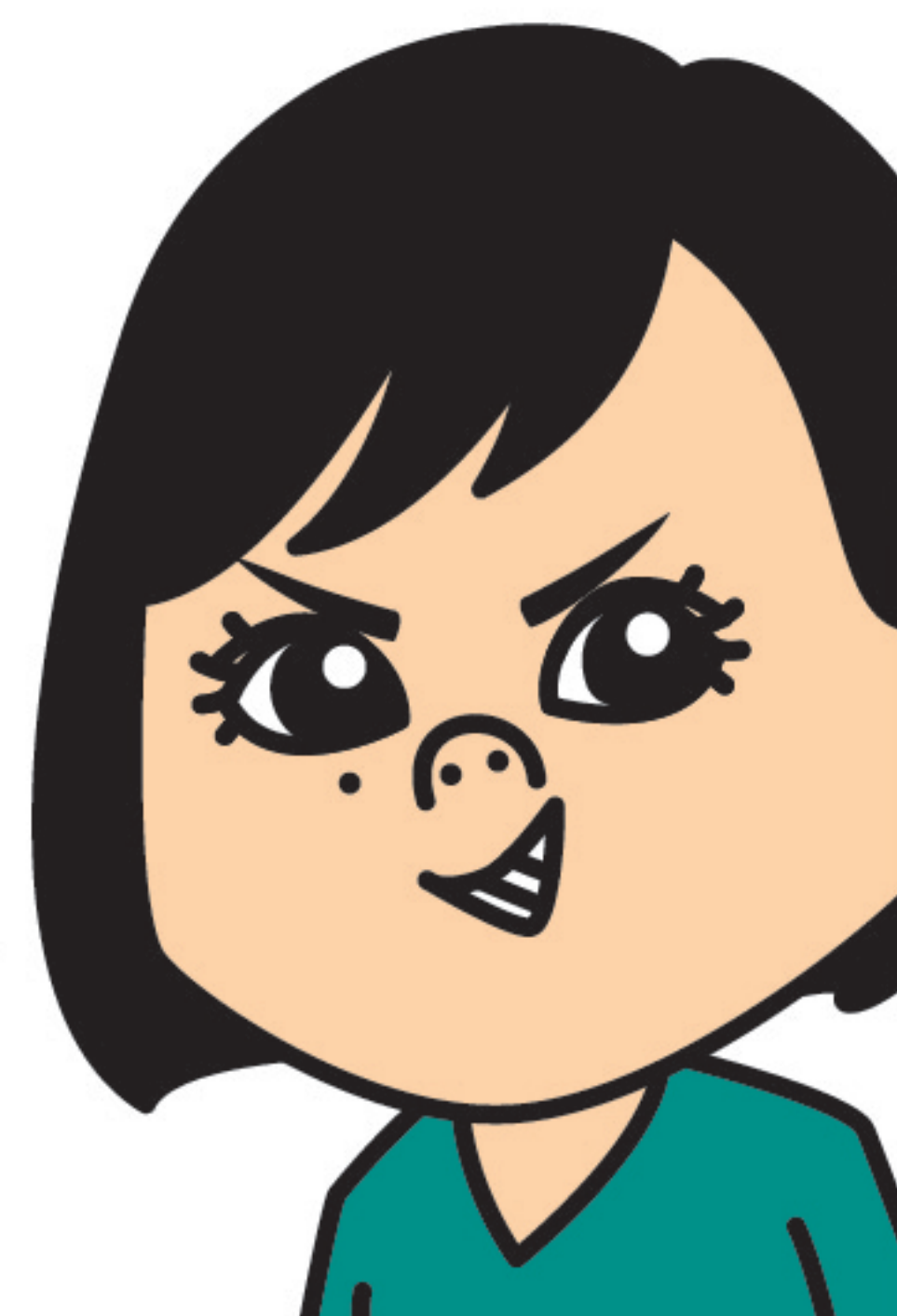
(参考) 蒲郡市立西部公民館 資料 広報がまごおり 2015年8月号 https://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/kaminogo-j-index.html https://www.imagineflag.jp/busho/ieyasu/nenpyou/index.html http://www2.harimaya.com/sengoku/html/udono_k.html 他

ミデコラム

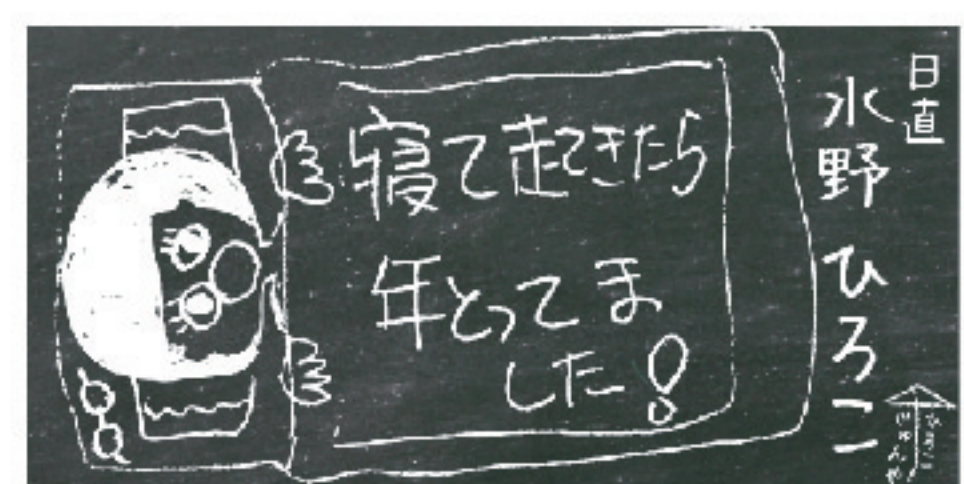
今月のにわか編集長
足立直子

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第125回

覚えてますよ

たま〜に昔のことを思い出す。よく小さい子が昔ねえといつて一年ぐらい前の話をすることがあるのだが私の場合、年齢が年齢だけに本当に昔のことなのである。最近思い出したことは、もう時効(このフレーズたまにテレビのバラエティ番組でタレントが使っていて私的には嫌いな言葉)であるだろうし、豊橋鉄道も多分許してくれると信じてここに告白します。



私は、今でこそ人並以上の厚みのある体格をしておりますが小学3年生までは、常に前から数えて1から2番目の位置をキープしていました。そんな私が小学1年

生の時、豊橋市内を走る「市電」に母と乗ったときのことです。1年生に入学しているのだから、当然こども料金でした。しかし、その時母は、私を幼稚園児(確かに小さかった)と申告し、市電と一緒に乗せたのです。6歳と幼かったとはいえ、その時の屈辱は、今もなお私の脳裏に焼き付いているのです。

この話を母や姉にいうと「変なこと覚えているだね〜」と言われる。子育て中の皆さんに言いたい。子供は50年以上たってても覚えてますよということ。

にわか編集長コメント

私も母親から言われた忘れられないセリフがあります。私が中学生になるかならないかのある日、私たち四姉妹がリビングでお菓子を食べていると、それを見ていた母親が突然私たち四人に向かって腕を広げながら「私の作品っ!」と言ったセリフ。当然ながら、物心ついた時から世界は自分中心に回っていたわけですが、なんとびっくり自分は母親の作品だったのか!と自分の存在を客観的に見直すことになった忘れられない出来事です…。



第125回

ラーゲリより愛を込めて

長くつきあっているけど、知らなかったことってありますか?私はありません。



来年銀婚式を迎える我々夫婦。…いいんだけど銀婚式(結婚25年)って響き、めっちゃおじい&おばあちゃん感あるな…。銀で…。そんな(どんな?)歴史をもつ相方が“戦争映画好き”ということを知りました。…分母が急に小さくなってすいません…いや、そのジャンルが好きなのは知ってたんです?正しく言うならば「映画館好き」か。

私がオリバーストーン監督のベトナム3部作(「プラトーン」「7月4日に生まれて」「天と地」)は「あれ、どれもよかったよねえ」とチョロっと話した時の異様な食いつき。基本右から左へ受け流されてるいつもの異なる反応に少々狂気を感じるほど。そりゃわかるか。ちなみにオットの推しは「ブラックホークダウン」です。

年々DVDを購入したり、ビデオをとりためたりしてひとり楽しんでたようなんですが、つい先日「ねえ、映画観に行こうよ」とオファー。

…結婚前でも聞いたことなかったですよ?そんなセリフ。

きおく画伯

第78回

お題 ミッフィー

描いた人 浩子さん

新年明けましておめでとうございます。今年の干支であるミッフィー(和名:うさこちゃん)に登場していただきました。どこからどう見てもミッフィーです。今年もよろしくお願いいたします。

で、観てきました。二宮和也主演の「ラーゲリより愛を込めて」

第二次世界大戦後のシベリア抑留のお話なんですけど、正直再来年の8月くらいにテレビでやるんじゃない?お金払って映画館行くほど?くらいに思ってた私はあまり興味なかったんですけど…「SING2」の借りもあるし、まあ乗ったわけですよ。映画館デート。

んが!!…め…っちゃよかった!!! クライマックスにむけて会場のどこからともなくすすり泣く声が聞こえてくるなか、ま…ったく泣けなかった私は、「やば…自宅で一人で見てたら泣いたかもなあ…」と焦った数分後、犬の「クワ」で号泣。堰を切ったように、一気にぶわっ!…という現象「これっ!」というくらい号泣。

と、同時に「あ、私の原作知ってる!」という気付きw つまり、この後の展開もわかってしまったのに、北川景子で泣き、松坂桃李で泣き、エンドロールの「Soranjii」でむせび泣いた。(ちゃんと順番どおりです。ご確認あれ☆)泣くのはストレス解消といえますから、ぜひおススメします。大丈夫。純粋な方なら100パー泣けます。

帰宅すると、もうすでに家にいたサッカー帰りの次男。テンションが低いので聞くと「練習終わった後に体力テストみたいな持久走あった…泣くかと思った。疲れすぎて、コンビニでお昼買うのもだるかったから、家で炒飯作って食べようと思ったのに…ごほんなかった…泣いたわ」w

いやー、涙っているんな種類があるのねー。

新しい年はどんな新しい発見があるかしら。楽しい・嬉しい方面満載だといいなあ

にわか編集長コメント

いつしかの鬼滅の刃の煉獄さん以来、映

画館に行っていない私。幸運にも蒲郡ロケでエキストラとして出演させていただいた映画が、今夏2本も上映したのですがそれも確認しておらず…。でも、やっぱり映画館で観るのはまた違いますよね。

涙とは真逆ですが、2008年公開の「パコと魔法の絵本」に彦摩呂が登場したシーンで会場全体が爆笑していたあの一体感は未だ忘れられません。家で観ていたら味わえない、映画館ならではの良さもありますよね。



第126回

18年間 お疲れ様でした。

メイン営業車のプロボックスとお別れです。初度登録 平成16年12月22日、18年間で282,094km走破。地球を7週ほど回った計算です。一度も大きな故障もなくよく走り切ったものです。たまに運転する程度でしたが、初見でも一切とまどわない運転しやすさが印象的な車です。今時のセンサーやドラレコ、安全運転支援システムなど一切ありませんが、車幅感覚のつかみやすさ、前後左右の視界、自然な加減速、どれをとっても大変優れた車でした。

個人的にはこの時代のもっさりとしたトルコンATはわりと好みでゆったりと運転できるのが良いところです。最近の車によくあるDCT系のATは鋭い変速が可能ですが、シフトショック時の振動が苦手でした。



こういうもっさり感でいいんだよと乗るたびに納得していました。

車両状態と過走行を鑑みると、おそらく廃車となると思います。長く乗った車との別れは感慨深いものがありますね。この感慨深さ、初めてのマイカーを思い出します。父親のセダンを譲り受けましたが、こちらはトータル19年、自己所有は4年ほど。最期、解体業者まで持っていき、お別れをしましたが、解体工場がまるで火葬場のようで、まだ走れる大切にしてきた車との別れはまさに身を切られるような心境だったのを覚えています。小さい頃から家族旅行などで乗っていて、多くの思い出が詰まっていた1台でした。車検をとるか、廃車にするかの選択肢がありました。車体の底面がかなり錆びており、ほかにモーターが出ていて、相当大掛かりな修復が必要とのこと。前回の車検費用はトータル30万円超えて払えず、親ローンで支払っていました。車検を更新するとなると、それを超える費用が想定され断念したのです。今でも廃車を少し後悔していて、修理したかったなと思うことが度々あります。つい中古車情報を覗いて、買い直したい欲求もあつたりします。

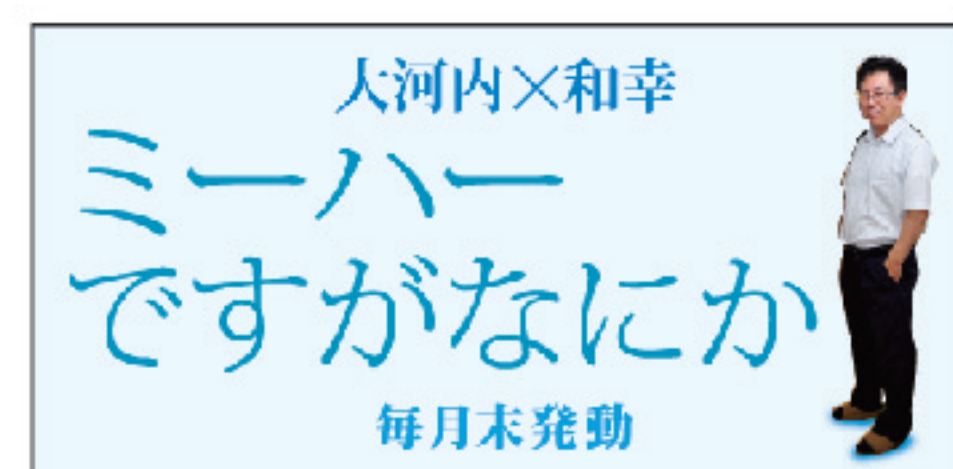
話をプロボックスに戻します。当然ながら初めてのマイカーほどの念はありませんが、別れは寂しいものですね。前後左右に傷や凹みがあり、まさにボンコツそのもので、褒められた状態ではありませんが、

この古傷は長く走ってきた証明。何はともあれ、大きな故障や事故もなくこの日を迎えられるのはとても素晴らしいことだと思います。最期きれいにしてあげたので、いつも以上に輝いてみえます。モノには魂が宿ります。納車のような美麗さで送るのは僕らのモットーであり、絶対譲れないこだわりです。長い間おつかれさまでした。



にわか編集長コメント

大河内さんの相棒だったプロボックス。私がこの車に乗ったのは数えるほどですが、入社当時から活躍していた車なのでもう見られないかと思うと不思議な気持ちです。とはいえ、次の車も楽しみです。プロボックスへの感謝と、ニューカマーへの期待に胸が膨らみます！



第126回

国民的大俳優との初共演

2022年も残りわずか。思い起こせば銀幕デビュー、そしてドラマデビューとミーハー的には記念すべき年であった。なにに、映画デビューだと？オットそれは失礼、大分盛ってしまった。実は人生で

初めてエキストラとしての参戦。もちろんセリフなどあるわけもないが、自分的には上々の銀幕デビューといってもいいくらいなものなのだ。普段テレビやスクリーンでしか見ることのできない雲の上の存在のような方々と同じ現場、同じ空気感で時間を共有できることなど通常なら絶対にはあり得ないことで、このような機会を与えてくれた我がM社長に感謝。声をかけてもらった瞬間、ミーハーの意地と誇りにかけて断る選択肢は無かった。

まずは今年の8/26に公開となった阿部寛先生主演の映画「異動辞令は音楽隊！」に縁あって二度エキストラとして参加することができた。犯罪捜査一筋30年の鬼刑事・成瀬君(阿部寛)は部下に厳しく、昭和さながらに犯人逮捕のためなら法律すれすれの捜査も辞さない男。そんなコンプライアンスを無視した行動が仇となって、突然上司から異動を命じられる。刑事部内での異動だろうと高をくくっていた成瀬だが、その異動先はまさかの「警察音楽隊」。気づけば組織からは時代遅れとはみ出し、家族もバラバラ。異動先にも馴染めず、人間関係にも音楽隊の演奏にも不協和音が鳴り響くとき、成瀬は一体どうするのか…。日本映画界・ドラマ界を牽引し、どんな役をもモノにする圧倒的な演技力とお茶の間での抜群の好感度、そして唯一無二の存在感をもって常にトップに立ち続ける阿部寛先生が蒲郡に来るといふ奇跡。「TRICK」「テルマエ・ロマエ」「ドラゴン桜」「結婚できない男」「新参者」「下町ロケット」など、シリアスからコメディまで幅広い役柄をこなす阿部寛先生の活躍は今更いうまでもなく、しかも「蟹座のA型」とこれまた自分とまったく一緒ということで、不思議な縁を勝手に感じている。そんな阿部様を超間近で見られる二度とないチャンスがついに巡ってきたわけだ。

そのチャンス1回目は捜査一課の刑事

役という形でまわってきた。音楽隊に異動となった成瀬を捜査一課の面々が花道を作って送り出すというシーン。場所は蒲郡商工会議所。スーツ姿で来てくださという指示で張り切って出向くも、ヨレヨレの綿シャツとベスト姿に着替えさせられて、内心不本意ながら見た目はエリート刑事から釣り人風に降格(泣)。こんな恰好で憧れの阿部寛大先生と初のご対面となった。ここでの最大の見どころは職員から花束を受け取った成瀬が課内の皆に見送られる途中、同僚の刑事役である六平直政さんから侮辱するような一言を言われるシーン。花束を床に投げつけるや否や六平さんの元へ向かう成瀬。六平さんの首根っこをつかんで締め上げるところで、磯村勇斗さんたち脇を固める俳優陣が一斉に止めに入る流れだ。オオッ、これがリアル阿部寛か…。信じられん…。スゲー…。いろいろな感情や想いが交錯する。この一連のシーンで成瀬のセリフはまったく無いものの、190cm近い長身を活かしたその演技とオーラに終始圧倒された。一方肝心のエキストラとしての役割は、両隣を大柄な俳優さんに挟まれて花道に立つこと、号令にあわせて敬礼をすること、捜査一課長のはなむけの言葉が終わる次第「これで厄介な奴がいなくなってせいせいしたぜ」と、けだるい感じを出しながら面倒くさそうに拍手をしながら自席に戻り、その後鞆を持って部屋から外に出ていく役を与えられた。敬礼については警察監修の先生から刑事独特の敬礼の仕方を伝授され何度も練習。自席から立つシーンは何秒後に歩きだすかということまで細かい指示を受けた。何度かのリハーサルを繰り返した後、いよいよ本番スタート。一気に緊張感が高まる中、カメラアングルを細かく変えながら同じシーンを何度も撮っていく。なるほど、こうやって様々な角度から撮影した映像を編集していくわけだ。そして映画やドラマ

で付き物の「NG」にも出会うことができた。プロの俳優でもセリフが飛んだり、言い間違えることもあるようだ。すべてが初めて見る光景、そしてスタッフの多さとこれまで味わったことのない独特な緊張感是非日常的で、ある意味新鮮だった。こうして阿部様とのファーストコンタクトは午前中のみで無事に終了。昨年8月初旬、夢のような時間を国民的大俳優と共有できた。そしてなんとその数日後、二度目のオファーが来ることになるのだが…。それはまた別の話。(次号へ続く)

にわか編集長コメント

大河内さんの二度目のオファー、幸運にも私も一緒に参加させていただきました。詳細は次号のコラムに譲りますが、私の隣には年配の女優さんが座っていたため確実に私も銀幕デビューいたしました！やった～！…早く自分の銀幕写りを確認せねばです。

一に日は道

水野 順也

第125回

人とのご縁 世間は実は狭い？

思いもよらない場所で、思いもよらない人とバッタリと出会う。これが重なるについ「世間は狭いねえ」となるものだ。というような話をしていたところ、ある人に、「世間が狭いわけではないよ。あなたの行動範囲と知り合う人が多いからだよ」と言われた。確かに、納得した。

人とのご縁は活動範囲と時間、そしてその時間を楽しむことで生まれるものだ。反

面、自分と家族の時間を削っているかもしれないが、プライベートだけではなく会社にとってもそのご縁がビジネスへと繋がることも多いからそれはそれでよしとする。むしろ私は積極的にいろんな方と接するように心がけている。

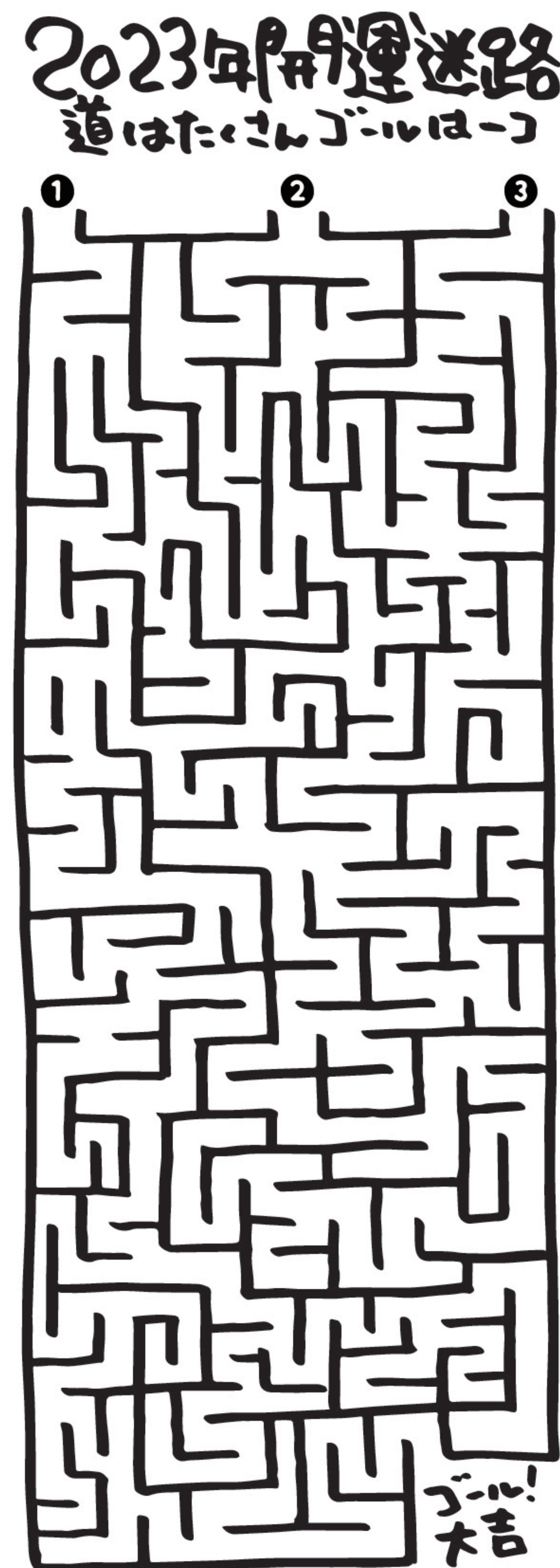
とは言っても誰とでもというわけではない。いろんな人とお会いするとその人がどんな人なのかを察するようになる。打算的に人を選ぶことはしないが、その人と一緒に楽しいか。良い刺激を受けられるか。知らずのうちに判断しているかもしれない。

すると不思議なもので、自分の緊急ではない、いつか解決したいと願っている課題を解決に導いてくれるアドバイスをいただける人や、本当に楽しく、刺激をいただける人に出会うことができるのだ。これをご縁というのか！と言いたくなる場面が稀にある。そんな時は、一期一会と表現すれば大袈裟だが出会う人に真正面から向き合うことが大事なんだと改めて感じる時となる。

最後に、いい人の周りにはいい人がいる。これは本当だ。

にわか編集長コメント

大人になると仕事以外で新しい人に出会う機会がめっきり減りますが、自分からいろいろな場に顔を出すなど、積極的に行動することは大切ですね。それと同時に、自分が「いい人」なのかどうか、今一度見つめ直すことも大事ですね…！！



いうことでメニューも豊富、訪れた際はお昼時というもあり賑わいをみせておりました。お店自慢のハヤシライス注文。昭和風情を感じながら食べるハヤシライスは大変美味で、目と舌と心で味わうことができます。手作りの味をぜひ浪漫あふれる店内で味わってみてください。過ぎ去りし日の甘美な思い出に浸れるはず。(文・山本)



今月のお題

新年の抱負



一生懸命



落ち着く



日々の丁寧



健康減量



フレキシブル



運動の習慣も



パーラームミン

with 山本・足立

今回のこっそり食堂は「パーラームミン」さん。昭和喫茶な雰囲気特徴的な昔ながらの喫茶店です。食事・喫茶と

おだちびん
のびんカフェ日記

2022.11.20 SUN.

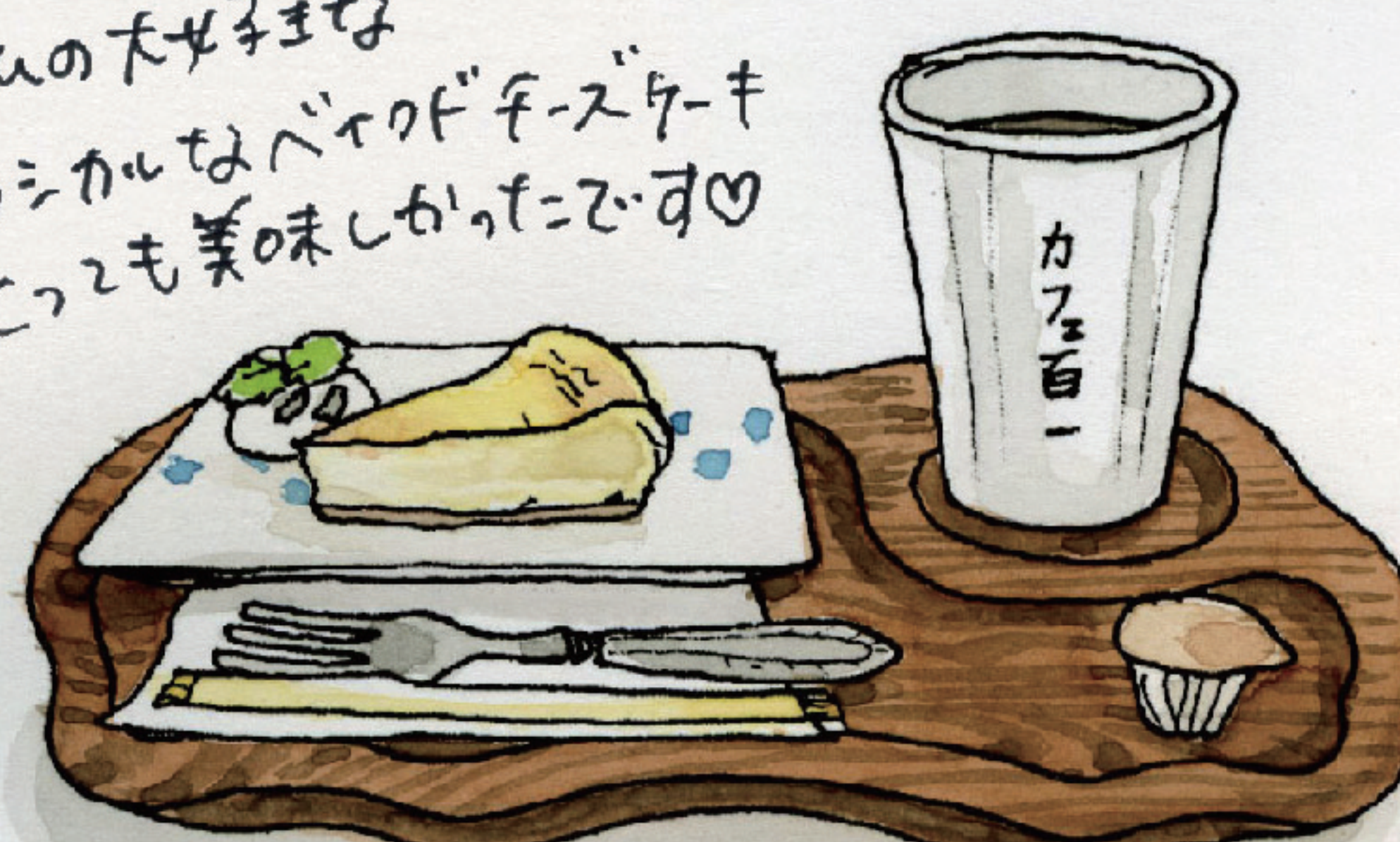
「アートの島」で人気の
佐久島へ行ってきました!

佐久島は一色土かたむい場からフェリーで約30分、
愛知県に3つあるアートの島のうちの
一つです。

File.78

**カフェ
百一**

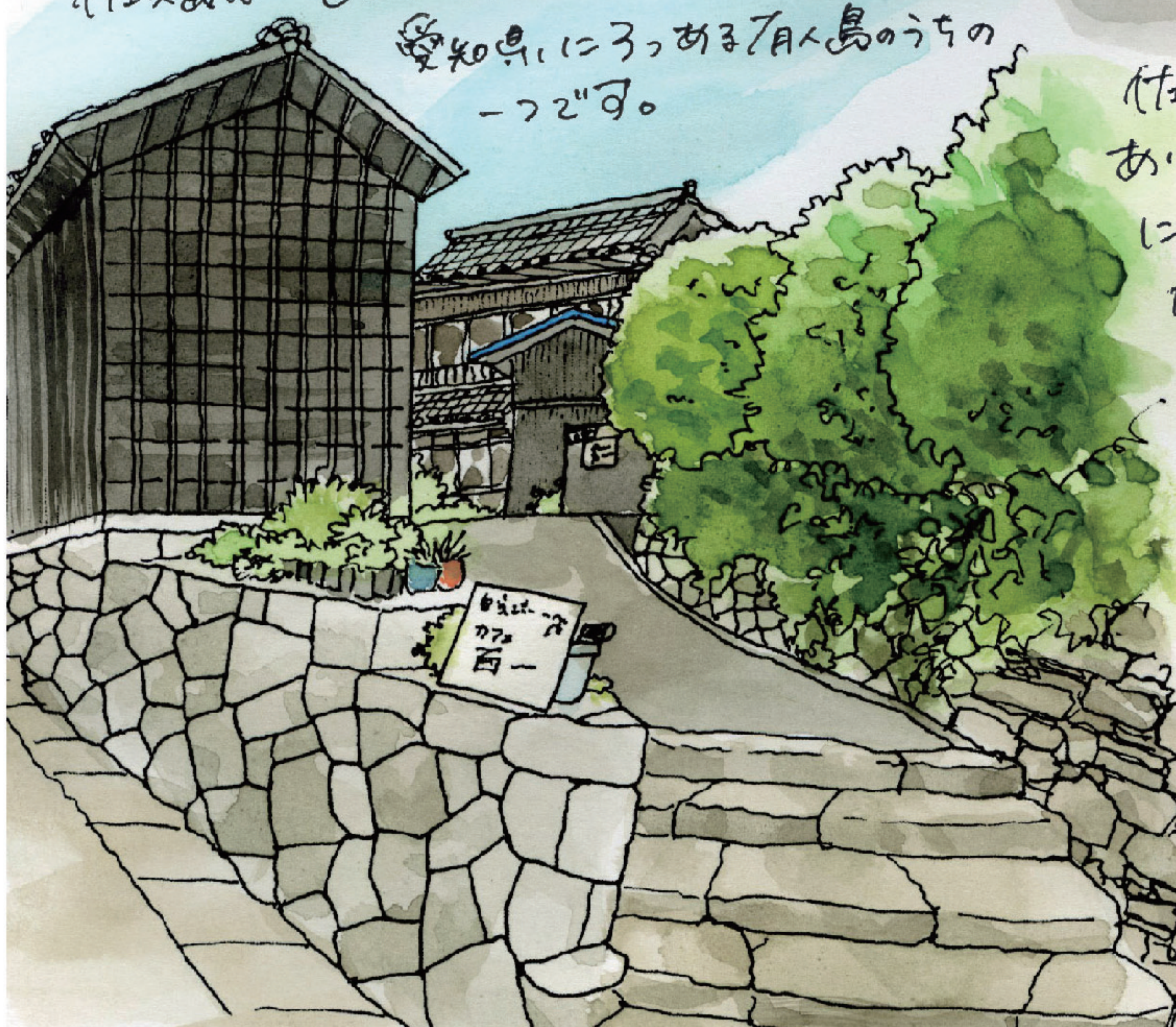
私の大好きな
ワシカルなバニラチーズケーキ
とこれも美味しかったです♡



佐久島には西と東に港が2つ
ありますが、百一は西の港のすぐ近く
にある、普通の民家の1階が
カフェになっている素敵なお店。
廊下を渡った奥のお部屋
からは、美しい三河湾が
一望できます!!

お店には西の港から出ている
帰りのフェリーの時刻表もある
ので、安心のんびりできますよ

OPEN 9:00-18:00
CLOSED 不定休(概ね火曜)
〒443-0045 西尾市一色町佐久島西側1丁目



にわか編集長
コメント

9:30発のフェリーで人生2度目の佐久島へ。東の港で降り、徒歩で島を散策しながら西へ。西の港近くの百一で休憩した後、島の真ん中を散策しながら北方へ。日没が近づいてきたので慌てて海沿いを歩いて西の港へ戻り、17:22発のフェリーで帰ってきました。丸一日楽しめる素敵な島です^^

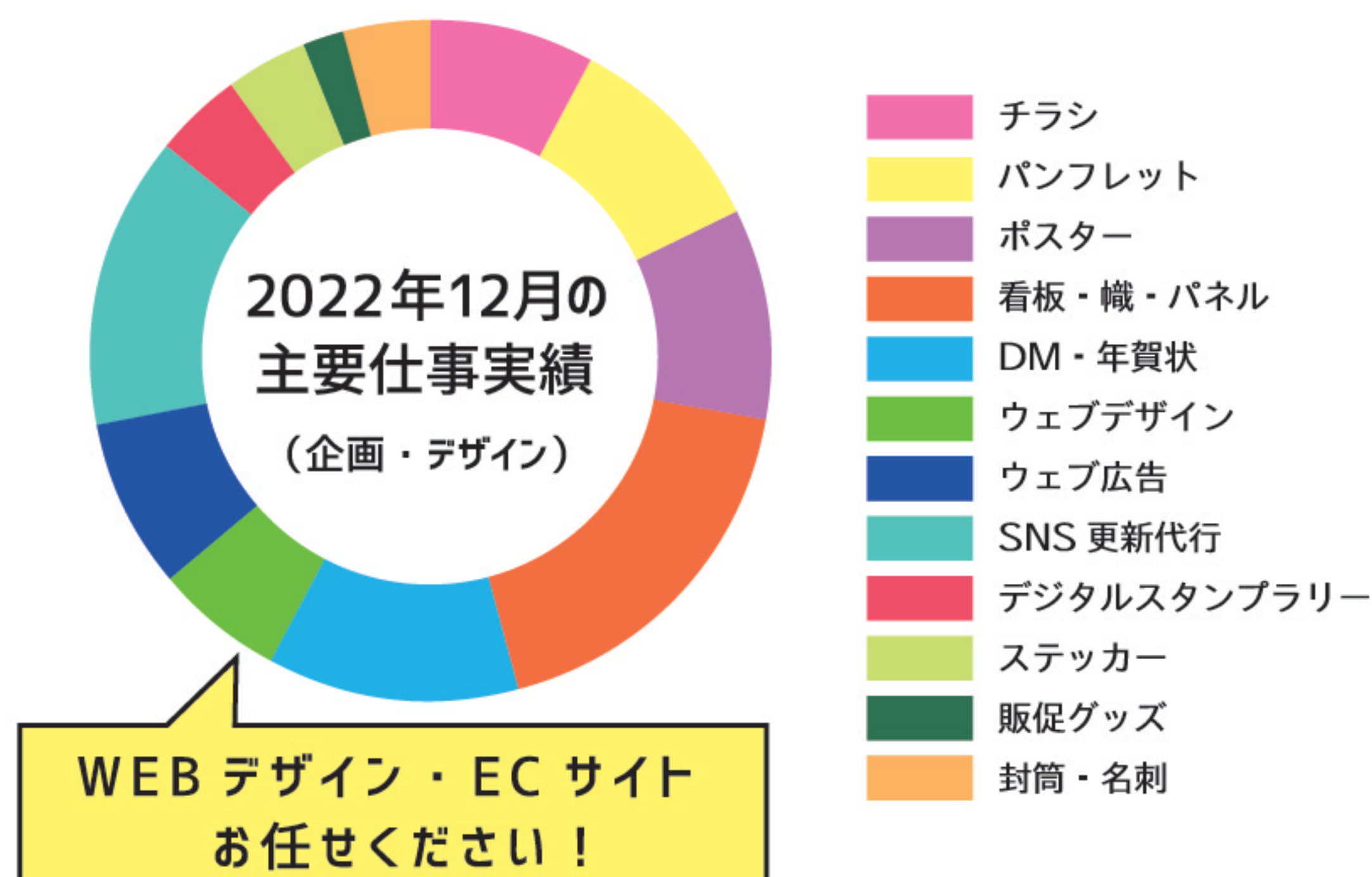
今月の 八百万百景

竹島の早朝

撮影者：山本兼佑

蒲郡らしい朝。王道ですが、八百富神社の風景が印象的です。初詣では大変な賑わいを見せる場所です。皆さん、何を祈願されるのでしょうか。





今月の

にわか編集長

編集後記も持ち回り制!

新年明けましておめでとうございます。列島が揺れた「令和」の発表も今は昔、早いもので令和五年の幕開けです。昨年は、長引く新型コロナの流行に加えて戦争、円安、あらゆる物の値上げと激動の一年でした。今年は心安らかに、楽しく希望の持てる年になることを願っています。

足立直子